

今年予定している主なプロジェクト

島時間

① 魅力的な

奥尻島フットパスルートの開発

奥尻島観光は1泊2日の日程が多く、フェリー・航空機着後に島内観光、そして宿で海の幸を堪能して帰られるというのが定番ですが、「島時間」の過ごし方と満足度を高めリピーターとしてまた来たくなる「奥尻島」を目指した取り組みを展開していきます。

全国の約3000万人を占めるウォーキングの愛好者・体験者・志向層をターゲット



に、恵まれた自然と風土を生かした本島の奥尻島の魅力をフットパスルートで伝えていきます。

今年、奥尻北部・西部に3つのコースを夏休みシーズンまでに設定します。また、町民においても健康増進、生活習慣病メタボリックシンドローム予防の健康志向メニューとして十分に楽しめる資源として活用します。

〔※フットパス：イギリスで発祥した「遊歩道」のことで、人々が自由に農村や山林、市街地などのコースを、景観を楽しみながら歩くものです。北海道では根室・白老・黒松内・ニセコといった自治体を実施しています。〕



【写真】 小道を生かした観光地づくりで町民も楽しめます。
〔場所米岡地区〕

② 海・山・歴史資源を活用

鮑狩り体験

奥尻島名産「あわび」を訪れた観光客の皆様へ、養殖生簀を活用して自分が実際にあわびを採る「鮑狩り体験」を東京発のツアー観光客を対象に5月8日に試験的に実施しました。

初めて海の上で食べる「あわび」の味に感激、その場でお土産として購入できる便利さもあり、満足度が高い体験メニューとして今後、地場産品の消費拡大として定着化を図っていきます。

このように、今までにない「島の暮らし」に関わる体験を多く提供することで1泊2日型観光から2泊3日もしくは滞在型観光への転換を図っていきます。



【写真】 鮑を海上で食べる。都会ではできない貴重な体験

③この夏デビューの新メニュー

「奥尻ブイヤベース」誕生!

町民試食会等を積極的に展開した「奥尻島四季・旬のメニュー開発事業」において学んだ島食材を用い西洋風にした「奥尻ブイヤベース」をメニュー化して、飲食店・宿泊施設関係者を中心に7月以降のシーズンデビューを目指します。



【写真】旬の食メニュー開発事業
料理研究会写真・ほっけ
のはんじゅく

また、漁師料理として奥尻島のホッケをしゃぶしゃぶ風に食べる「ほっけのはんじゅく」も同事業で観光客提供メニューとして7月以降のシーズンデビューを目指し、春・秋の旬の「ホッケ」を島の代表的な「魚」、また郷土料理「元祖三平汁」も奥尻の「食」として、アピールしていきま

す。このほかにも、奥尻ワインの誕生予定、町花ハマナスを活用した奥尻スイーツの開発、離島北限のブナ林や自然の活用、歴史遺産の展示など、様々な話題が今年の奥尻で展開されます。

しかし何よりも一番は訪れた皆様に島民が「何もないとこるによく来たね」と笑顔で語り、「何もない奥尻島での感動と出会い」を観光客の皆様と一緒に体感できたらと考えてます。



奥尻島定期観光バス運行事業

島の観光地を地元ガイドによる定期観光バス

期間 H20年7/1～8/31 バスセンター発

9:30コース (大人2,700円・小人1,500円) 所要時間約2時間30分

15:30コース (大人3,000円・小人1,700円) " 約3時間30分

奥尻島歓迎キャンペーン事業

6m以上の観光宿泊目的のバスのフェリー片道航送料運賃助成制度です。(7～8月に一部助成率変更)

奥尻島三大祭運営事業

賽の河原祭り(6/22・23)・室津祭り(7/19・20)・なべつる祭り(8/30)を実施するにあたっての運営費補助です。

詳しくは役場商工観光係 TEL 2-2351

受入体制の充実を図るため、人気キャラクター「うにまるくん」の観送迎、観光案内所サービス、地域再生プロジェクトの事業展開を積極的に推進していきます。

奥尻島観光協会運営事業

